

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係る地区別懇談会 【小松原、相模が丘、広野台】		
開催日時	令和3年11月16日（火） 19時00分～21時00分		
開催場所	北地区文化センター		
出席者	【市】 佐藤市長、三浦副市長、大木企画財政部長 【参加者】 市内在住、在学、在勤の方 28人		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	これからの座間市についての意見交換		
資料の名称	次第 これからの座間市について 補足資料 第四次座間市総合計画の取組結果（一部抜粋）		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 「これからの座間市について」説明

} 別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

それでは、意見交換に移りたいと思います。御意見のある方は、挙手をお願いいたします。それでは前から3番目の方、よろしくお願いします。

【参加者】

今回第五次ということで、このテーマは座間市全体のことなので、皆様の関心事が全然違うと思うのですね。まず、いろいろな話の進め方があると思いますけど、第四次までにやってきた事に対して、正直、この取組の結果を見たら、20点ですね。満点が92点で17点しか取れていないということで、これは結構私は衝撃的な数字だと思っています。ですので、今回の第五次に皆様の意見をお願いしますというのもよろしいのですが、それより、今までこうやってきたけれどここは現状には合っていないという分析をしているから、どうでしょうかとか、そういう土台があってその次にというような話の進め方が良いと思います。今回の説明では、これまでのことは全部御破算にして、もう1回作り直しましょうというふうに聞こえました。反省点や分析を行政側から示していただき、それに対して我々が反応するという方法もよろしいのじゃないかなと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。第四次の反省を踏まえてから進めたいとの御意見でした。取組結果の詳細はホームページの方にも示されていると思いますが、市からコメントをお願いします。

【市長】

御意見をいただきましてありがとうございます。御指摘いただきました第四次の総括ですが、本日こちらには一部抜粋ということで、詳細はお配りしていませんが、92のまちづくり指標それぞれについて、どのように取り組んできて、掲げた目標のうち何割程度達成できたかを示したものです。92指標の全てをこの場で詳細にというのはなかなか難しいですので、総括してお示ししています。指標については、例えば、アンケートの結果としてこれだけの市民の皆様に感じて欲しいといった形でそれぞれの課で定めて、毎年毎年、行政評価をしながら進んできた訳ですが、その結果がこういった状況であったということでございます。

【参加者】

20点ですよ。子どもが20点取って来て、それに対して何の評価もしないというのは、どうやって思っているのかっていうのが、普通の親御さんだったらもっと頑張れよという気持ちにならないかなと思います。

【市長】

そういったことも踏まえた上で、この度、第五次座間市総合計画を、これまでの行政の指標というのもの、なかなか総合計画自体を市民の皆様がどれだけ御存知かということも、知られていないというところもあるのではないかなと私は考えています。それぞれの施策がもっと市民の生活の中にしっかりと入り込んでいって、市民の皆様が、座間市がどういう政策を掲げて、どういう施策をしているのかというのを肌で感じられるようなものにしていきたいというのが基本的な考えとしてあります。そのためには、行政だけで取り組んでいるのではなく市民の皆様と共に進めていったり、市内の企業さんなども含めて目標の設定や取り組む手法なども一緒に考えていくということがよろしいのではないかと、第五次座間市総合計画を策定するに当たっては、そういったことを考えています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見のある方、いかがでしょうか。

【参加者】

今の意見に関連して、20点取れた方の内容を見ますと、例えば「市職員の情報セキュリティポリシー理解度」などはできて当たり前で、本当の問題は、できなかった80点の方にあるのではないかと考えています。第五次の政策には簡単なものから非常に重いテーマのものまであると思いますので、重要度を付けて、本当に重要度の高いものができたか、できなかった課題は何か、もう少しやろうとしている政策、そういったものが大事だなと思います。第四次の抜粋には、できた方の20点の中身ばかり書かれています。そうではなく、できなかったものの中の本当に大事なものをハイライトで取り上げて示さなければいけないと思います。要望です。

【コンサルタント】

今の御意見等は、今後骨子を示していく上で事務局でしっかり検討していく内容かと思います。ありがとうございました。その他、ございますでしょうか。

【参加者】

家のすぐ近くに防災無線があります。小松原に住んでいますけれども、その防災無線が聴こえないので、できるだけ赤いランプなどを付けて、防災無線が鳴っていることを知らせて欲しいと

いう要望です。サイレンが鳴っているということを、聴こえる知人から聴きましたので、何かがあったら赤いランプを付けて欲しいという要望です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。防災無線を赤いランプ等、見える形にもできないかという課題でした。自然災害等、安全・安心といった視点は今後のまちづくり重要なテーマだと思います。その他にも防災等に関して地域で課題を感じられている方はいらっしゃいますでしょうか。

【参加者】

広野台の〇〇です。東日本大震災の反省から国はトップダウンの、座間であれば座間地域防災計画だけではダメだよと、ボトムアップが必要だよということで、地区防災計画というものを作りましょうという話が内閣府から出まして、それに対して座間市は2019年、自治会自主防災会に対して地区防災計画をやる所はないかということで、たまたま、私たち広野台地区自主防災会連絡協議会が手を挙げ、防災計画を作成しました。その後、座間市としてそれがもっと進行していくのかなと思ったら、どこにもそれが進んでいない。要するに、一つの自治会がやることではなく、その地域全体が地区防災計画をしなければあまり意味がないねと、その辺は行政や座間市自連などがもっと積極的にやらないと、この地区防災計画というものは形だけになってしまいます。もちろん、私たちの広野台地区防災計画も、今回のコロナで感染症対策を入れなければいけないなと思っています。改定案を作っていかなければなりません、そういうことに対して行政が支援をしながら、第五次計画では少なくとも何%が地区防災計画をやろうとか、数値目標を入れてやっていただきたいと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。防災といった視点で、防災無線の課題や地区防災計画策定に対する行政等の今後の支援などについて御意見をいただきました。そういった視点で、市長からよろしくお願いします。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。ハンディキャップを背負っている方たちの災害時の対応というのは大変重要だと思っています。本日いただきました、防災無線が聴こえない方々への対応も考えていかななくてはならない課題だと認識しております。家の中でランプが点灯するものや、夜間にわかりやすい蛍光表示ができるものなどもありますので、そういったものも含めて今後考えていきたい課題だと思っています。

また、地区防災計画の御提言もございました。おっしゃるとおり、それぞれの地域で防災については考えていかなければいけない課題だと思っています。今、自治会加入率は50%を切って、

40%台という座間市であります。また、自主防災組織もある所とない所があるような状況ではありますが、これからの地域コミュニティの重要性としては防災と地域福祉への対応がキーになってくると認識しておりますので、本日いただいた御意見は、それぞれにしっかりと受け止めさせていただきたいと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【参加者】

私は広野台の〇〇と申します。自治会の加入率にも関連することです。

私は保育園や小学校を回って、子どもの不登校を減らすための活動として「自信の種を育てるためのボール投げ教室」を15年ほど続けています。保育園では就学の備えとして、また小学校に入ってから運動の苦手な子が消極的でいじめの対象になりやすいことから、小学校も絡めて活動をしています。

子育て・教育への声が多いという説明がありましたが、私が活動の中で感じているのは、働きながら子育てをしている親御さんの声が本当に届いているのかな、ということです。なぜなら、就学の備えに何が必要で、どういうケアが欲しいのかということが、親御さんたちの頭に入っていないからです。私が子育て支援センターや保育園などで保護者の勉強会に呼ばれて話をすると、そういうことが知りたかったと皆様おっしゃいます。昔は自治会に子ども会などがあって親も学べる環境でしたが、それが今どんどん減って、親が情報を得る機会や環境がなくなってきました。子育てに必要な情報が得られないから自治会に入っても意味ないよと言う親御さんがたくさんいます。働きながら子育てしている親御さんたちの声が吸い上げられていない証拠だと思いますので、今回の子育て・教育に挙がっているという声の中身がとても気になります。

平成21年頃の市のアンケートでは、子育て中の保護者のニーズとして「近場で安心して子どもを遊ばせる場所が欲しい」が就学前と小学生の両方で60%を超えていました。アンケートでそういう結果が出ていたにもかかわらず、10年経っても全く良くなっていません。近場というと、どうしても学校になる訳ですが、学校の施設は野球やサッカーで占められていてほとんど使えないという不満も親御さんたちにはあります。ということで、期待をしつつ、本当に働きながら子育てをしている親御さんたちは、時間がない、近い会場がないということで、不安の中で子育てしているということです。

【コンサルタント】

ありがとうございます。子育て・教育は今回のアンケートだけではなく、過去のアンケートや日々の皆様の声からも重要な課題だという御意見だったかと思っております。その他、子育てや教育に関連する御意見をお持ちの方はいらっしゃいますか。

【参加者】

相模が丘の〇〇です。今、座間市では、不登校のお子さんが100名を超えていると思います。私どもは、あすなろという居場所づくりと、市から北地区文化センターをお借りして学習支援の活動をしています。それでも、100名という子どもたちがそこに入りきれません。その子たちにもっとたくさんの学習機会や環境を与えて、大人になった時に普通に通学した人たちと変わらない生活ができるようにしないと、座間市にとって、不幸ですよね。ずっと引きこもっている人が毎年100人いるというのは良くないと思うので、今回の子育て・教育のテーマの中に、そういうところを充実するような予算立てと環境づくりを是非計画に取り入れて欲しいなと思います。今、学習支援と簡単に言いましたが、学習支援をする人たちはほとんどボランティアです。学習塾のような稼げるところにはたくさんいると思いますが、ボランティアではそんなにたくさんいません。何とか、そういう人たちの予算が付くと良いなと思います。計画はありますか。

【コンサルタント】

ありがとうございます。次の方も子育て・教育についてですね、お願いします。

【参加者】

不登校のお子さんやその親御さんたちへのサポートはとても大切です。ですが、その前に不登校にさせないためのサポートが必要です。私はその活動で保育園と小学校に行っていますが、小学校の先生方が言われるのは「不登校になってからでは遅いです。学習支援は外でできても、集団生活における社会性の学びをどこで取り戻すかを考えておかないと、片手落ちになるのです、中学校で現れてしまうのです。」ということです。「支え」と「そうさせない」という二つをやっていかなければならないと思います。今私がやっているのは、不登校にさせないための就学の備えと、小学校に入ってからそうさせないためのサポートということをやっています。両方が必要だと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。ただいま2名の方から子育て・教育ということで、子育て中の親の声が届いているか、不登校の問題、学習支援ボランティアの不足などについて御意見いただきました。その辺、いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。ボールの投げ方教室やあすなろの学習支援など、様々なボランティアの方々に支えられて座間市の不登校に対する対応が行われています。市としてもつばさという取組をさせていただいております。

市内には良い活動をされているボランティア団体がたくさんありますが、今後は高齢化などで後継者がいないという深刻な課題もあります。そういった中で、少し切り口を変えてみたり、情報発信のツールを工夫してみたりすることで、関心があるけれどつながっていなかった方たちにつなげられたり、また、市民のボランティアだけではなく企業などの力も借りながら今行っている活動をつなげていくということも考えなければならぬと思っております。市内にある様々な地域資源がなかなかつながっていないということもあると思いますので、例えば、不登校の当事者や保護者などをサポートする方たちの会議の場を設けるということも今後は必要であると感じております。今、コミュニティ・スクールの取組もありますので、地域でどのように子どもたちを育てていくのかという視点も含めながら考えていかなければならない課題だと思っております。

いろいろな情報がありますが、なかなか当事者の方たちに届いていないという状況もありますので、本市の中で取り組まれている様々な情報が市民の皆様、当事者の皆様にしっかりと届くような仕組みづくりが大変重要だと思っております。今、LINEに6万2千人の登録をいただいております。LINEの情報発信も大変有意義だと思っております。そういった工夫をしながら今後取り組んでいきたいと思っております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは、こちら前から3番目の方、お願いします。

【参加者】

広野台の〇〇です。座間市は今計画書を見まして、2ページに「活力と個性とは、文化、健康づくり、スポーツなど様々なことに市民が生き生きとチャレンジし」とあります。また5ページの「政策5 暮らし快適 魅力あるまち」の2行目には「市民が集い、憩うことができる空間が確保され、快適な都市生活を営んでいます」と、非常に良い内容でもって出されています。しかし、50年に当たって、実は体育館の駐車場が有料化されます。4月から。これは今読み上げたことと共通しないのではないかということから、お聴きしたいというか、私の考えを含めて述べたいと思います。

有料化の問題の議論では、座間の総合病院ができて、見舞客が無料だから活用してしまう、だから、体育館を使う人が駐車できなくなる、このような答弁をされています。しかし、今まで体育館は27年も経っていますが、内外に113台の駐車場を運用されてきましたが、今まで何の問題も起きていないにも関わらず、民間の業者に丸投げして駐車場の管理運営を任せる、このような内容に決められています。そして、議会での答弁では、貸し出す費用として、年間180万円、月に15万円、これを5年間貸すという内容です。この金額が高いか安いのか、私は非常に安

い契約をしている、1日当たり5,000円で座間市と全く関係のない民間の業者に貸すという内容であります。本来、座間市が市民の生活に責任を持つべきであります。市民の財産に対して、民間の業者に丸投げして貸し出すことは、断じて許せない内容です。

また、併設する基地の一部返還が平成30年にされて、公園駐車場を多額の費用で座間市が開発し、この公園に新設する23台の駐車場、体育館と合わせて136台の駐車数を1業者に委託するという内容です。どのように136台も車が止められる、そこを業者に1日当たり5,000円で貸す、これはなんということでしょうか。あまりにも安い料金でもって1業者に貸し出すということになります。また、この有料化の中で、市が何項目かの無料で使える項目があります。持ち主であるのは市民なのです。市民には有料でもって使うようになり、しかし市民から雇われているあなた方市長、官僚、職員、この方たちが無料の項目がいくつかある、こういうことは許されません。座間市民の財産に、市とは関係ない民間の業者に管理運営を任せ、丸投げする、これは今までの50年の歴史の中で最大の汚点と言わなければなりません。この内容が6月の市議会の中で、都市公園条例一部改正、これが多くの会派の賛成でもって通されました。6月にこのように条例が決まってからトントン拍子で進められ、そして1業者を認定して、もうすでに10月では契約したと思いますが、このような流れを見た時に、業者と癒着があるのではないかと疑いたくなります。私はこのような有料化は今計画書で読み上げた所のこととは相容れないと考えます。私は今後、駐車場を無料に戻すまで主張をしていきたいと思っています。

また他にも、様々な駐車場が市にあります、こういう所にも有料化の方向が強まる、こういう危険性もあると考えます。実際にこの駐車場が無料の問題が、このままでいくことが、市民にとって生活が一番身近な所でもって市が今までの政策に賛同を持てるところであります。是非、引き続き無料にしていきたい。このことを是非訴えたいと思います。50年に当たって、市民が主人公なのだ、市民に奉仕するということを踏まえた市政、この文章の中にも「市民を主役として」という言葉があります。是非そうした立場で、是非無料に戻していきたい。4月からの有料化は進めないでいただきたい。このことを要望いたします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今日はこういう場ですので、それに対する回答というのはなかなか難しいかとは思いますが。ただ、施設のいろいろな管理運営について、どのようにお考えでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。私からは、大きく公共施設の今後の在り方という視点でお話しさせていただきます。今いただいたような御意見の方もいらっしゃると思います。しかし座間市としては、公共施設の再整備計画の策定をしております。その中で、市民アンケートなども行っております。公共施設はそれぞれに目的があって作られている訳ですが、ある程度限られた方々が使うような施設もあり、使わない市民の方から見ると、そこを無償で使

うということはどうなのかという御意見もごございます。そういったアンケートなども踏まえた上で、今後、市として良質な施設を未来に引き継いでいかなければいけないという、そういった役目も果たしていかなければならないと思っております。財政状況も大変厳しい中で、公共施設をどのように良質な形で維持していくか、後世に引き継いでいくかは大変大きな課題だと考えております。冒頭で申し上げましたとおり、本市は昭和40年代に人口が急増しまして、小中学校を毎年建ててきたという経過がございます。核づくりの公共施設も建ててまいりました。市民には、コミュニティセンターや、地域ごとの文化センターなどがございます。こういった公共施設を今後どのように維持していくかは大変大きな課題だと考えておりますし、多くの方々に使っていただけるような公共施設の在り方というのでも考えていかなければならないと思っております。その中で、体育館に関しましては、あの場所の特性として、隣に病院があって、そこは有料駐車場で、現在でも体育館に長時間の駐車をする状況も見られています。そういったことも含めて、今後も総合的に判断をしていきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。その他、御意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

では、まだ発言されていない、後ろから2番目の方からお願いします。

【参加者】

相模が丘に住んでいます。一つは、地域振興のテーマに関わることかと思いますが、相模が丘に20年以上住んでいまして、辰街道の商店街では店がポツンポツンと閉めています。いろいろな事情で閉めていると思いますが、跡取りがいないとか、儲からないとか、あると思いますが、それを見て淋しく思います。商店会も会員が集まらなると、なくなっています。

もう一つ、第四次で桜並木を数年かけて再生しました。綺麗になって、時期になると人が集まります。市内だけでなく市外からも来ていると思いますが、私たちは綺麗になった桜並木に集まった人たちにお金を落としてもらえる仕組みを作って欲しいと思います。例えば、美味しい飲食店があるとか、まちに元気が出るようなところにお金を使って欲しいと思います。例えばさくらまつりがありますが、コロナで去年は中止でしたが、もう少しイベントを盛大にするとか、あるいは夏の竹灯り、そういったものでイベントを大きくして人を集めるとか、マスコミを使ってあちこちから人を呼び込む、そういうことを通じて、もう少し金を使ってくれよということに市として取り組んでもらいたいと考えています。まずそれが1点です。

2点目は、生活の安定という所になるかと思いますが、私はマンションに住んでいます。相模が丘はマンションが非常に多いです。古いマンションで言うと、40年、50年経っている所もあるのかなと思います。私の所はそこまで経っていませんが、マンションが抱える問題として、将来建て替えるということがあります。マンションは法律上、4/5以上の賛成がないと建て替えられません。私は住んでいて思いますが、将来マンションが建て替えの時期になった時に4/

5の賛成を得て建て替えを決めるということはかなり難しいと思います。高齢化して、お金もない、賛成できない。その時に、自分が住んでいるマンションがどんどん古くなる。それをどうしていくか。それはマンションに住んでいる人だけではなく、例えば市や県などの行政も含めて考えていかなければならないなと思っています。建て替えずに放置するという訳にはいかないと思います。先のことはわからないと思いますが、こういった問題を市としてどう考えているのか、古いマンションもあるので、将来的にはどうするつもりなのか、市としての考えをお聴かせいただきたいと思っています。

【コンサルタント】

今2点いただきました。最初は地域振興の視点で、店が閉まって淋しくなっているので活性化に桜並木などの資源を活かしてはどうかという御意見、もう一つはマンション問題ということで、建て替えに関しては行政もなかなか難しいかもしれませんが、市内のマンションが老朽化しているという課題に対する御意見だったかと思います。市長、いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

まず地域振興ですが、御指摘のとおり本市では、桜並木やさがみ野のスイートガーデン、ひまわりまつり、大風まつりなど市外から人を呼べるような場所やイベントはいろいろとありますが、市内にお金が落ちる仕組みがなかなかないということは私も課題だと感じております。今、市内の経済活性化について考える協議会はありませんが、商工会の会長などからそうした場を持ちたいという御意向も聴いています。そういうことも含めて、地域経済の活性化への取組は進めていくべき課題として感じております。

また、マンションの建て替え等については、私も議員時代から懸念をしていることでございます。本市では半数以上の世帯がマンションやアパートなどの共同住宅に住んでおまして、マンションは大変多い地域だと思っております。ただ、市として何ができるかということはなかなか難しいところですが、実はその件について、神奈川県でマンションの管理組合に声を掛けて、マンションの資産価値の向上や維持についての話し合いが行われたことがあります。そうした啓発なども大切ですし、資産価値を下げないための取組というのも大変重要だと思います。マンションの課題というのは、市だけではなく県や国を挙げて考えるべき課題だと認識しておりますので、今後とも県や国とも連携しながら取り組まなければならないと感じております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。次に挙手されていた方、お願いします。

【参加者】

相模が丘に住んでいます。5分歩くと相模原市、10分歩くと大和市という市の外れです。座間市は縦長なので“座間市内”と言われている地域のことはあまりよくわかりません。

今までこのような会に何度か参加して思うことは、第五次総合計画策定はわかりますけれども、先ほど最初の方が言われたように、四次計画においてわずか20点しか取れていないのであれば、取れなかった残りの80点の振り返りをするのが第一なのかなと思ったのです。四次計画にしたって、前任の方が伊達や酔狂で作った訳じゃないはずなのです。それをもちろん、今の責任者が改革ということで全面否定して新たにやるというのであれば、それは別だと思えます。それであれば明確なビジョンを示していただきたいというのが私の考え方です。

ですから、まずは今までの市役所の方たちが苦勞して作り上げた四次計画において問題点であったりできなかったことの振り返りを行い、できなかったことが悪いことではないはずですので、まずはそれを完成させていくことが大事だと思うのです。それを第五次計画に振り替えていくことがベストだと思います。今までいなかったスペシャリストが100人集まればできると思いますが、そのような体制には見えません。第四次と完全に分離して作るのではなく、今まで続けてやってきたことの問題点を再度洗い出して、どうすればできるかということをお客様で考えて、できるように持って行くということ、それに新しい事を付け加えて第五次計画として作り替えていくことがベストだと思います。そうしないと、前回の会にも参加しましたが、話が四方八方に飛んでしまってまとまりがつかない、皆様の話もいつもの話だと思います。座間市全体を今後どう持って行こうかというときに、今までのものを御破算にしてやるというのであれば、膨大な時間と金と人が要ります。ましてや座間市では昨年から今年で税収が大分減っているはずですよ。こういう計画もお金がなければできません。無駄なお金を使って浪費することは許されません。使うなどとは言いません。百円使って千円稼げればそんなに良いことはありません。であれば、まず今あるものをより良くしていくというのが一番低コスト、省エネだと思います。この半年間見ていると、常に新しい意見を求めていこうとする、その割には市から全くビジョンが示されていません。市はどうしたいのか、市としては今までどういう問題点があったのか、一切我々市民には聴かされません。この四次計画の結果にも良いことしか書いていません。何が悪かったのか、どこに問題があったのか、そういう所は全然周知されていませんから、市民は知りません。それでは新しい計画などできなくて当たり前です。私も含めて市民は一般人であってスペシャリストではありません。そこに意見を求めるのはお門違いだと思います。市役所の方たちはある意味、市政のプロです。市民の苦情を受けるのだけが市役所ではありません。国で言うところの官僚と同じで、座間市を作っているのは職員の方です。それなら尚更四次計画の問題点についてうんと掘り下げて、市民の方にわかるように説明して、どうして行きたいかということをお話して、そこで意見を求めるのが筋だと思います。まずそこからやり直して貰いたいと思っています。

このような会を連日やっても堂々巡りです。皆様が言われるような個々のこともわかります。ですが、それ以前の問題として、全体をどうしたいか、座間市としてはどうしたいか、市民としてどうしたいかということをお話して、意見を出して貰ってすり合わせて、そこで作り上げていくのが第

五次計画だと思います。ただの意見交換会では、前回のものも出ていますが壁に貼った紙に皆様がやりたいことを書いていただけです。私最後に、じゃあこの資金どうするの、お金どう稼ぐのということも言いました。それに対して何の意見も出ません。皆様が個々に思っていることは違うので、全部分かるように顕在化させて、そこからまたプラス市民の方、市役所の職員の方、市の行政のトップの方たちの意見を顕在化させてすり合わせないことには絶対その意見は5年経っても10年経ってもまとまらないと思います。

ですから、まず私の意見としては、市からのビジョン、市はどうしたいかをまずお聴かせください。次に、四次計画で失敗した部分の総括をしていただきたいと思っています。そうすれば、第五次計画が短時間でより良いものとして出来上がると思います。以上は私の意見です。勝手に言いまして申し訳ありません。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今後の計画の策定作業等の進め方について参考になる御意見だったかと思っています。進め方等については、最後に総括で御意見いただければと思います。その他、御意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【参加者】

相模が丘に住んでいます。座間市は「暮らし快適 魅力あるまち」ということですが、木の伐採がとても多いと感じます。公園や緑地へ行っても、花壇はあっても木がありません。木は日陰を作りますし、環境問題や温暖化、また地下水のことにおいても一番重要ですので、まず木を植えていただきたいです。私がこちらに来てからいろいろな所で随分と木が切られて少なくなりました。桜並木も大木が切られて、桜は10年掛かるということもありますが、今あるのは小さい木ばかりです。管理が難しいのもわかりますが、できる限りいろいろな所に木を植えていただきたいなと思います。花壇を作るよりは、まずは木を植えて日陰を作ること、それが公園でも一番大事なことだと思います。要望としてお願いしたいと思っています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。市からの意見は後でまとめていただきたいと思っています。その他、御意見のある方いらっしゃいますでしょうか。

【参加者】

こんなまちになったら良いなという地域振興に関する話です。2年前に相模が丘のマンションに、家内との終のすみかとして引っ越してまいりました。ベランダから下に見えるのは日産工場

の跡地です。私はここで社会人の第一歩を踏み出しまして、ちょうど家族ごとイギリスに島流しに遭っている時に座間工場が閉鎖になりました。今無事故郷に帰りまして、やはり「こんなまちになったら良いな」は、自動車産業などの大きな産業が座間にあって欲しいな。今日たまたま、7月1日～2日にフランスのカヌで行われた国際会議の中で、ルノーのエレクトリシティといわれる、今、急激に電気自動車、CASEと言われる、つながった自動運転、AOB、EV、シェアといったようなことに、自動車のような大きな産業が変換点を迎えていまして、ルノーのエレクトリシティという、フランスの北部にルノーや日産のバッテリー関係の会社など巨大なEU最大のEVの生産拠点、バッテリーも含めたものを作ろうとしています。実は、座間の跡地にありました日産の拠点で日産のEVのバッテリーが開発され、かつ生産設備が作られ、その拠点が残念ながらフランスの方へ行ってしまっているのですが、逆に今の自動車の大きな変革の中で、もう一度、日産座間工場があった時の賑わいなり、今の変化を捉えた新しい産業を呼び戻して欲しいというのが、私の「こんなまちになったら良いな」という気持ちでございます。何か見通しや構想など、交渉していますという話があったらリークしていただければ有難いと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。ただいま2名の方からいただきました。木を植えて木陰のあるまちにして欲しいという御意見と、今の変化を捉えた新しい産業の誘致をして欲しいという御意見だったかと思います。今すぐ回答するのは難しい面もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。

まず、木の伐採についてですが、台風などで折れた枝が飛ぶ被害が市内でもありまして、市では、老化が進んでいる樹木のチェックをして切って植え替えるということを進めてきた経緯がございます。相模が丘の桜並木は老木化が進んでおりますので、おそらく、そうした中で伐採が目についたのではないかと思います。まずは市民の皆様の安全が第一だと思っております。今はナラ枯れと言って、ナラ系の木に虫が入って立ち枯れをしてしまうのが大変危険だということで、そうしたものを切っている状況もございます。また、これは本当にいろいろな意見がございますが、街路樹が周辺住民の負担になっているという御意見もあります。例えばイチョウは落ち葉の手入れが大変なので、昔はできたけれど高齢になった今はとてもできないというような御意見もあります。そういった中で総合的に、緑を守っていくということは市としても行っているところですし、緑の計画というのもございますので、緑地の面積等も含めてしっかり守っていきたいと思っております。

それから、日産の関係でございます。お気持ちはよく理解をして受け止めさせていただきました。現在でも日産座間工場はマザー工場として大変重要な拠点でございます。各国の技術者を集

めて研修し、その技術者たちが各国の日産工場に行って自動車を作るという、技術職を生み出す研修をそこで行っています。車の金型の製作なども行っていると聞いております。生産ラインは閉鎖されましたが、現在でも大変重要な拠点となっています。また、今はコロナ禍であまりやっていますが、日産の歴史的な記念車輦を見学できる施設ともなっています。

先日、50周年記念の際に日産の星野副社長と対談し、ブルー・スイッチという取組についてお話を伺いました。自治体などと協定を締結し、日産のリチウムイオン電池を災害時の地域の電源として広く活用していこうという取組です。本市はこれまでも災害協定を締結するなど日産とはいろいろと協力してまいりましたが、今後も更に脱炭素においても共に歩んでいきたいと思っております。具体的な動きについては、のちのち、いろいろと皆様にお知らせすることができるかなと思っております。本市としては「これからの座間市について」の中にも掲げておりますが、カーボンニュートラル、脱炭素に向けた取組を進めていきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。次に、真ん中の前の方、お願いします。

【参加者】

2回目ですみません。各論の話を見せて欲しいのですが、最近コストコの方の土地がどんどん、パチンコ店の跡の更地に何ができるのだろうと市民は不安に思っています。また倉庫かなと、ささやかれています。座間市は一体何を考えているのか、どういうふうに都市計画を立てているのか、こういう話は多分第四次の時点で、この地区はこういうふう発展させていきたいなというところで、人が住む所、工場を作って企業誘致をする所などはあっても、ゆめゆめ倉庫を作る所という都市計画を立てることはあり得ないと思っておりますが、どうも倉庫がとても物流拠点がある狭い道なのにあるというのは、行政がどんどん、計画が、ごめんなさい、これは皆様がやられていることを私たちが知らないからこういう推測を言うのですが、民間がどんどん土地の取引をして、要は大きい工場が出て行く、その物件が安価に出ているので、倉庫だったらこの辺りは人もたくさんいるから働いてくれる人もいるだろうというふうなことで倉庫業の人が入ってくる、で、私たち市民は大渋滞の中で生活をせざるを得ないというような負のスパイラルがあるような気が私はしています。実際に私が土地の変化を見ていると、倉庫がどんどん多くなっているからそう感じざるを得ない。第四次でも第三次でも、長期的な土地の使い方の方向性をもっと皆様に発信していただいて、積極的に先ほどおっしゃっていたように、日産でもトヨタでもどこでも良いので、しっかりした計画のもと、まちを引っ張っていくような、そういう見える化をしていただかないと、本当に倉庫の中で生活したくないので、是非よろしく申し上げます。

【コンサルタント】

都市計画や土地の使い方についての御意見ですが、いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をありがとうございます。御指摘いただきましたように、本市では、都市計画ができる前から座間日産がございまして、これまでの都市計画としては、座間日産を専用工業地域とし、その周りの関連企業などを準工業地域として作られております。都市マスタープランというものがございまして、座間市の土地利用方法については、大きな方針がございまして、

産業の流れの中で、今、製造業に関しましても大きな土地が要らなくなっているということもあると思います。また、本市は圏央道や246号、16号などに近く、道路交通網の利便性が大変高い土地柄であるということもあると思います。インターネット通販等が主流になって、時代の流れの中で物流倉庫のニーズが高まっているということもあると思います。そういう中で、座間市を含む県央地域は「物流倉庫界の六本木だ」と言われるほど需要が高くなっていると聞いております。市としてそういったものを特に誘致するということはもちろんありませんが、それぞれの法律の中でこれはなかなか規制をかけられるものではありません。時代の流れの中でそういったものができてきている、土地の特性での誘導があることや、時代のニーズとしてそういったものが求められていることがあるとは思っています。

【参加者】

我々は、渋滞や交通の安全性の面で大変犠牲になっています。それに対して規制できないって、ちょっと違うと思います。市のトップが規制できないとおっしゃるなんて、私はとてもびっくりしています。どれだけ皆様が苦しんでいるか、土日はコストコの所に全然入れないよねとか、皆様言っています。多分、交通量のチェックもしているはずなのに、どうして市のトップが、時代の流れでなかなか行政指導はできませんよと言うのか、広い道路なら別ですが、すごく狭いじゃないですか、あそこの道って、それによって皆様が苦しんでいるとおわかりになりませんか。

【市長】

当然、今の渋滞の状況は把握しておりますし、私自身も地域に暮らす者として当然感じております。市としても道路に関しては、総合都市交通計画や交通安全計画など、様々な計画を持っております。そして、今の渋滞の状況を、機会を捉えて何とか解消するような形で進めている部分もございまして、ただ、やはり道路の拡張や拡幅など、渋滞を解消していくには土地の所有者の御理解をいただくことや、財源の確保なども必要になってまいりますので、しっかりと時を捉えて渋滞解消に向けて今後も取り組んでいきたいと考えております。そしてまた、渋滞の課題として大型商業施設などの問題もあるかと思っております。物流倉庫というのは、ある意味こちらからコントロールというか、例えばこの時間帯はできるだけ抑えていただきたいというお願いなどもできるのではないかと考えておりますので、そのような協議のできる場を今後設置していきたいと私は考えております。

【参加者】

すみません、おもしろいお話をいただいたので、もう少し言わせてください。

「この道は通ってはいけません」とか「この時間帯は通ってはいけません」ということは、ま
ず言えないだろうと思います。

【参加者】

そんなことはありません。時間制限されている道路はたくさんありますよ。

【参加者】

物流倉庫で、物流の方が来ていて、先ほど市長がおっしゃったように、24時間365日クリ
ック一つで誰でも物を運べる時代に、この道は通らないでくれというような規制は現実的として
不可能だと思います。いずれにせよ私はこの物流の話がとても後追いだなという印象を強く感じ
ました。むしろ発想の転換をして、例えばあそこに企業や学校などを誘致するという方向にトッ
プセールスとして動かされた方が、問題解決への近道ではないかと思うので、座間日産が出て行っ
てから25年ぐらい経っていますので、もうそろそろ決めて欲しいと思います。是非よろしくお
願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。総合計画ないしは都市計画など個別の計画等にも参考になる御意見だ
ったかと思います。御提案も含めてありがとうございます。終了時間も迫ってまいりましたので、
後1名、御意見のある方はいらっしゃいますか。

【参加者】

相模が丘に住んでいます。私は座間市に住んで40年位になりますが、話を聴いていて残念だ
ったのは、四次計画の中で20%しか達成できなかったかもしれないけれど、その20%の中で
市として、私たち市民として誇れるものがなかったのだろうか、確かに80%はできなかったか
もしれない、20%の中で「これだけは今までにやってきましたよ」と市民に対しても、他市に
対しても誇れるものがなかったのだろうか、とても残念な気持ちで聴いていました。確かに要
望はたくさんあると思います。マクロ的な要望の方が確実に良いと思います。例えば、医療が高
校生まで無料ですとか、そうした方が非常に私たちにグサッと来るかも知れないけれど、もう少
し大きな視点で四次までの中でなかったのかなというのが非常に残念なところなんです。ですから、
これから五次の計画を作るときに、私たちが誇れるもの、「座間市はこういう市だ」と言えるよ
うなもの、私は40年住んでいて座間市はこういう市だと言えないなということが、今日初めて
こういう場に参加して、とても残念でした。車で言えば通過点ですよ。サッと過ぎて、あっと

いう間に座間を過ぎてしまう。その座間の中で、六つの項目立てをしているけれども、この中で誇れるものがあればなと思います。

それから、欲を言うならば、多分座間市だけではできない部分がたくさんあると思います。他の市、相模原や大和、海老名などと連携しなければできないようなことがたくさんあると思います。道路一つでもそうです。市道が途中から大和市になってしまえば、その先は広げられません。そういうことも含めて、他市との連携、もっと言えば行財政が逼迫したときに座間市だけでやっていけるのかどうか、非常に難しい問題も含まれていると思います。そういうことも、もっと、素直にと言ったらいけないかもしれませんが、出しても良いと思います。良いことも悪いことも全て出して、私たちが座間市を好きだと言えるものが、是非、次の第五次の中で作っていただければ良いし、また、市だけではなくて、私たちも知恵を出していければ良いなと思います。初めて参加させていただいて、とりとめもないことですが、感想として持ちましたので、よろしく願いいたします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。ただいまの御意見、感想等も含めて、最後に総括をいただければと思います。終了時間も迫ってまいりましたので、意見交換の方はこれで終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、本日いただいた御意見をまとめさせていただきます。

- ・計画の策定方法について（第四次の総括を踏まえたビジョンの提示など）
- ・防災について（防災無線のバリアフリー化、地区防災計画策定への支援など）
- ・子育てと教育について（保護者ニーズの把握、遊び場の確保、不登校対策など）
- ・公共施設について（駐車場などの運営管理など）
- ・地域振興について（商店街や桜並木など地域資源の活用など）
- ・産業振興について（企業誘致によるまちの活性化、物流倉庫と渋滞問題など）
- ・生活環境について（マンションの維持管理問題、植樹による公園緑化など）
- ・広域連携について（道路整備や財政面など）

このような御意見をいただきました。そういった御意見も踏まえまして、市長から総括のコメントをいただければと思います。

【市長】

本日は遅い時間にも関わらず、これだけ多くの方にお集まりをいただきまして、また、大変貴重な御意見をそれぞれの立場からいただきまして、本当にありがとうございました。

第五次座間市総合計画を作る上で、第四次座間市総合計画を全て否定してという考えはもちろんございません。第四次座間市総合計画で取り組んできた考え方を基本としながら、継承すべき所は継承し、改善すべきところは改善していく、そしてまた、本日冒頭に示させていただきまし

た、時代の流れの中で今後必要となってくるSDGsや脱炭素社会への取組、またDX化というところも押さえながら今後の座間市の総合計画を策定していきたいと考えています。

総合計画というものの存在自体なかなか市民の皆様には知っていただけていないことや、その目標について御理解をいただけていなかったということも、私としては反省点としてあると思っております。そのような中で、今後は市民の皆様、生活をしていく中で座間市がどういった政策に取り組んでいるのかを感じていただけるような総合計画に仕上げていきたいと思っておりますし、これまでなかなか結び付いていなかった市民の皆様や団体・企業の皆様などを有機的にしっかりとつなげ合わせながら、これからの座間市のそれぞれの地域づくり、コミュニティというもののしっかり形成していきたいと考えております。これまでの懇談会の中で、例えば保育園が地域の高齢者の災害時の見守りに取り組んでいたり、地域にある福祉施設や企業の会議室やホールなどを地域の皆様に開放していたりというようなお話もありましたが、なかなか広く地域でそうした情報を共有できていないところもありました。本日、地域の拠点作りについての御意見もいただきましたので、地域で様々に活動されている皆様がそれぞれ活発に活動できるような切り口で、これからの後世の皆様、これまでの方々が取り組んできたことをしっかりと引き継いでいただけるようにしていきたいと考えております。

また、私は人づくりがとても重要なことだと思っております。地域の皆様とこれからの子どもたちの人づくりをしていくということ、そしてまた、地域づくりでも、皆様と力を合わせていきたいと考えています。

座間市だけではなく、広域的な他市との連携も大変重要だと思っております。現在でも座間市では、ごみの焼却施設などは高座清掃施設組合ということで座間・綾瀬・海老名の3市で、また斎場については大和斎場ということで、座間・海老名・綾瀬・大和の4市で共同運営しております。その他の様々な公共施設等も含めて、今後、良質な公共施設を維持していかなければならないということもありますので、市民ニーズが多様化している中で、そういった地域にある資源を有効活用できるようなことを考えていかなければならないと思っております。

この座間市に住んでいて良かったと思っただけ、日本一元気で楽しいまちを目指して、市民の皆様と共に歩んでいきたいと考えておりますので、今後とも行政運営への御理解、御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。本日は本当にありがとうございました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。本日は限られた時間の中で、進行では皆様に簡潔に御意見をまとめていただきまして、御協力ありがとうございました。意見交換はここまでといたしまして、進行を事務局にお返しいたします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。